

**製品名: ニカリンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14693**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	63kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NCLN
別名	NCLN; Nicalin; Nicastrin-like protein
遺伝子 ID	56926.0
SwissProt ID	Q969V3
免疫原	抗血清はヒト NCLN 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 474-523

**背景**

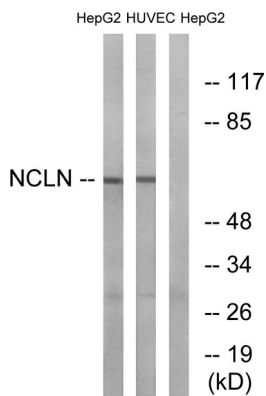
機能:中胚葉パターン形成中の Nodal シグナル伝達とそれに続く軸構造の組織化に拮抗する可能性があります。類似性:ニカストリンファミリーに属します。サブユニット:NOMO2 と相互作用します。NOMO1、NOMO2、NOMO3 間の類似性が高いた

め、NOMO1 および NOMO3 とも相互作用する可能性があります。ガンマセクレターゼ複合体とは無関係の大きなタンパク質複合体に関与しています。、組織特異性:膵臓と骨格筋で高く発現し、心臓では低レベルで発現しています。、機能:中胚葉パターン形成中の Nodal シグナル伝達とそれに続く軸構造の組織化に拮抗する可能性があります。、類似性:ニカストリンファミリーに属します。、サブユニット:NOMO2 と相互作用します。NOMO1、NOMO2、NOMO3 間の類似性が高いため、NOMO1 および NOMO3 とも相互作用する可能性があります。ガンマセクレターゼ複合体とは無関係の大きなタンパク質複合体に関与する。、組織特異性:膵臓と骨格筋で高く発現し、心臓でも低レベルで発現する。、

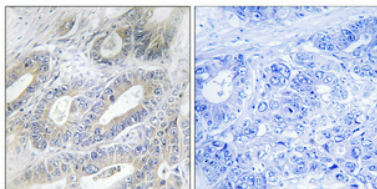
## 研究分野

軸形成と対称性; 発生生物学; 胚発生; モルフォゲン;  
シグナル伝達; 成長因子 / ホルモン; TGF

## 画像データ



NCLN 抗体を用いた HepG2 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。